

# 2017年度事業報告書

## 特定非営利活動法人IMAGINUS

### 1 事業の成果

今年度は、活動従事者数が増えたことにより様々な活動が展開した。一方でインドの事業は情勢悪化が原因で計画通りに進まないことも発生した。それに伴い、毎半期ごとに開催してきたスタディツアーは2017年夏は開催地を移動し、2018年春のインド開催を中止することとなった。様々な困難があったが、スタディツアー参加学生の満足度は高く、課題解決のためのプロジェクト提案も行われ、質の高い学びの場が提供できた。他の主要活動として、国際理解教育事業は東京や茨城の学校からの依頼を受けて大学生を派遣し訪問事業を実施した。また、2017年7月5日に発生した九州北部豪雨災害後に大学生と社会人が連携して被災地のボランティア活動を行うため災害時ボランティアコーディネート事業部を立ち上げ、4回にわたるボランティア派遣を実施した。

### 2 事業の実施に関する事項

#### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載した事業)	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者の 人数	受益対象者の 範囲及び 人数	事業費の 金額 (単位：千円)
学生ボランティア団体活動 支援	広島大学 Smiles Production のインドでの事業実施における技術支援を行った。また、広島大学の生活協同組合と連携しトレイ事業を実施した。	通年	国内 (広島)	2名	学生団体メンバー 約20名	<u>10</u>
	災害時ボランティアコーディネート事業部を立ち上げ、九州北部豪雨災害のボランティア派遣を4回行った。	9月 11月 12月 2月	福岡	3名	参加社会人延べ19名 参加学生延べ23名	
ワークショップ事業	実施なし	—	—	—	—	<u>0</u>
英語コミュニケーション能力養成	実施なし	—	—	—	—	<u>0</u>
異文化理解推進事業	① インドスタディツアー派遣 開発途上国における国際協力を学ぶための、スタディツアーをインド西ベンガル州のビルパラで実施した。3チームを編成しフィールド調査を繰り返し課題発見・分析をした後、解決案を作成し、現地の人へ提案した。	8・9月	インド	日本人 5名＋ 1名 インド人 4名	参加者：9名	<u>2216</u>
	② 国際理解教育訪問授業 大学生の国際協力経験者をトレーニングし、茨城や東京、神奈川の中学や高校で訪問授業を行った。	数回	茨城 東京 神奈川	1名	訪問先の生徒	

	③ インターン生受入れ 国際協力人材育成のため、インドプロジェクトサイトにおいてインターン生の受け入れをした。また、フィールド調査の指導ならびに助言を行った。	7月から2018年2月	インド	3名	インターン生5名	
開発途上国における教育推進事業	①教育推進事業 (Tea Smiles Project) インド西ベンガル州ダージリンで貧困により学校へ通うことが困難な子どもたちへ、学費、教科書代、文房具代等の教育費の支援を行うための現地運営サポートをおこなった。現地情勢悪化の影響で2017年度内に奨学金を対象時全員へは配布できず2018年度に繰り越しとなった。	通年	インド	3名	奨学金を受け取る人数：45名	<u>2140</u>
	②児童保護事業 インド西ベンガル州ニュージャールパイグリ駅周辺の女兒を保護し、適切なカウンセリング、基礎教育を提供できる環境を整えた。現地情勢悪化のため主要スタッフの入れ替わりなどにより運営体制が安定せずプロジェクト内容の質を高めるのに難航した。一方で保護者の職業訓練やヘナトレーニングはインターン生が運営サポートに入ることで参加者のモチベーションが高い状態で定期的実施することができた。また、施設の改築、教室の改築を行った。	通年	インド	現地スタッフ6名 日本側スタッフ3名	子どもの人数：116名 ヘナトレーニング参加人数：14名	
	④ 研究活動 フィールドワークを専門とする大学教員を助言者として、インドの事業実施地のフィールド調査を行った。また昨年度の研究成果が書籍に掲載され出版された。	8・9月	インドおよび国内	2名	—	
上記事業に関連した情報提供	団体ホームページの運営と改訂 団体活動報告冊子作成 (ニュースレター)	通年	国内	2名	ホームページ、冊子閲覧者	<u>20</u>
その他の事業	実施なし	—	—	—	—	<u>0</u>